

# 空港関係手続の効率化について ～現状と目指すべき方向～

---

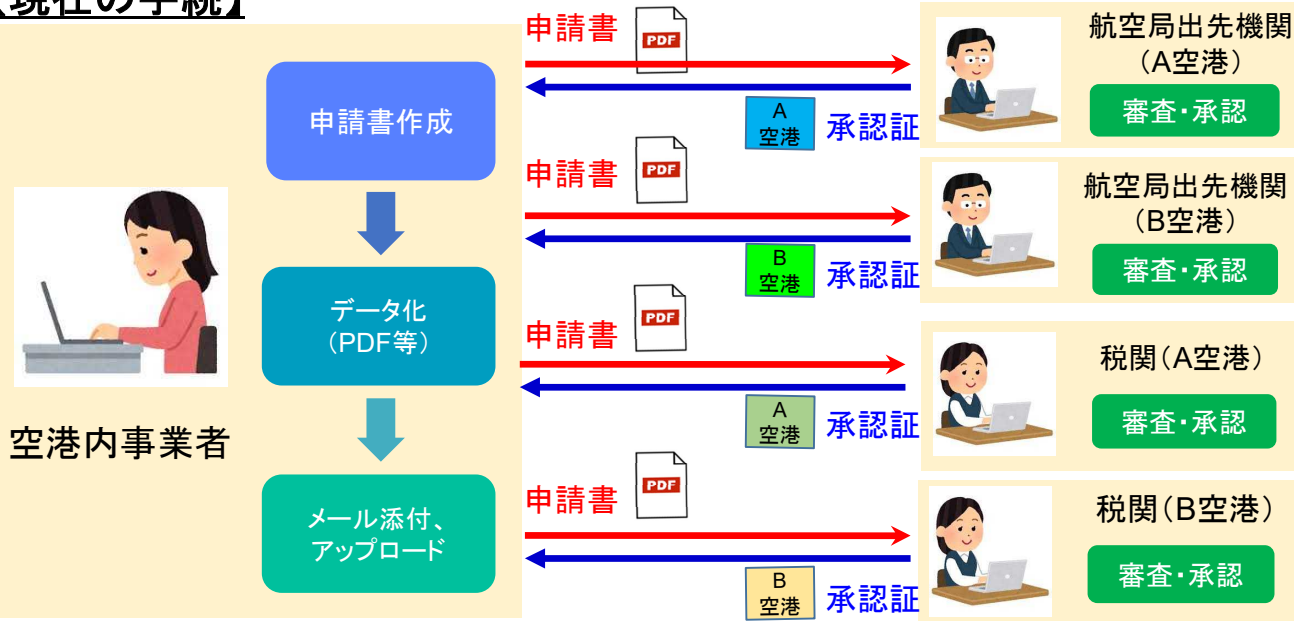
航空局交通管制部運用課

## 以下の空港関係手続の効率化を検討中

- ① 制限区域内立入、車両使用承認手続
- ② 車両運転試験、講習
- ③ 運航手続

# ①制限区域内立入、車両使用承認手続

## 【現在の手続】



### ①申請手続

- データの作成、加工は手作業。
- 空港毎に申請が必要。
- 航空局出先機関と税関は別々に申請が必要。

### ②審査・承認手続

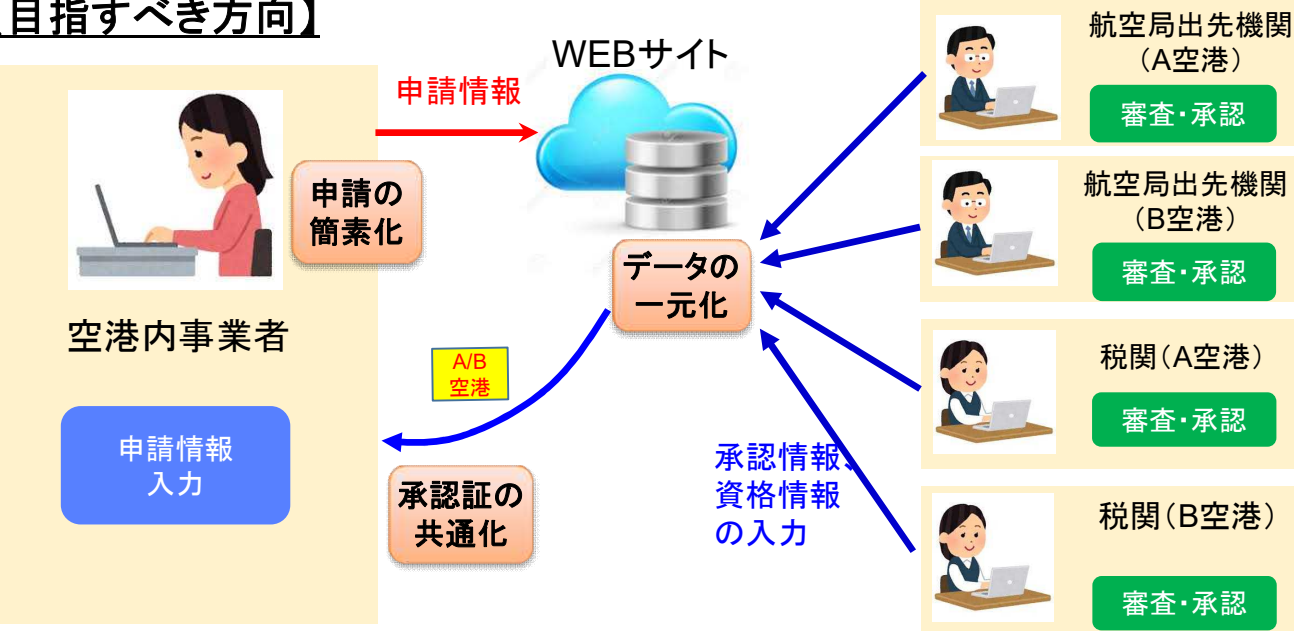
- 申請書の全項目を人の目で確認している。

### 手続きの課題等

- 申請、審査双方の作業で人の手を介する部分が多い。  
(効率化のため改善の余地あり)
- 承認証の数が「空港数 × 手続数」となり、管理が煩雑。  
(紛失リスクが増す)



## 【目指すべき方向】



### ①申請手続

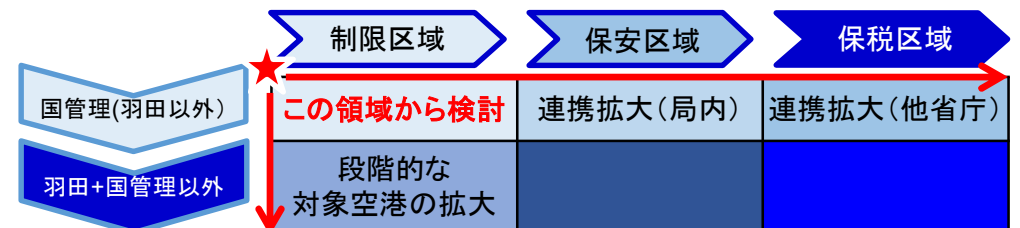
- WEBサイトによる申請の簡素化。

### ②審査・承認手続

- WEBサイトによる審査承認の簡素化
- 税関と連携し、承認証を共通化。  
(共通のDBによる情報の一元管理)

### DXに期待される効果等

- 申請から承認まで、全てWEBで完結。  
(作業量の減、作業効率の増)
- 承認証の管理が容易。  
(承認証統合後はOne ID、Face IDも検討)
- セキュリティの向上  
(より高度な偽造防止技術)



## ② 車両運転試験、講習

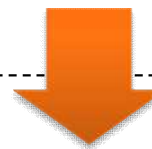
### 【現在の手続】



- ・航空局出先機関の会議室で開催  
(職員が会場準備、立ち会い、講義等の対応を実施)
- ・「3密」対策のため、1度の開催に参加する人数を制限  
(その分開催回数を増やして対応)

### 現状手続の課題等

- ・航空局出先機関の会議室に参集を求めている。  
(対面開催による感染リスクの増、受講者等の時間、コスト負担増)
- ・開催回数の増に伴う、職員の負担増。



### 【目指すべき方向】

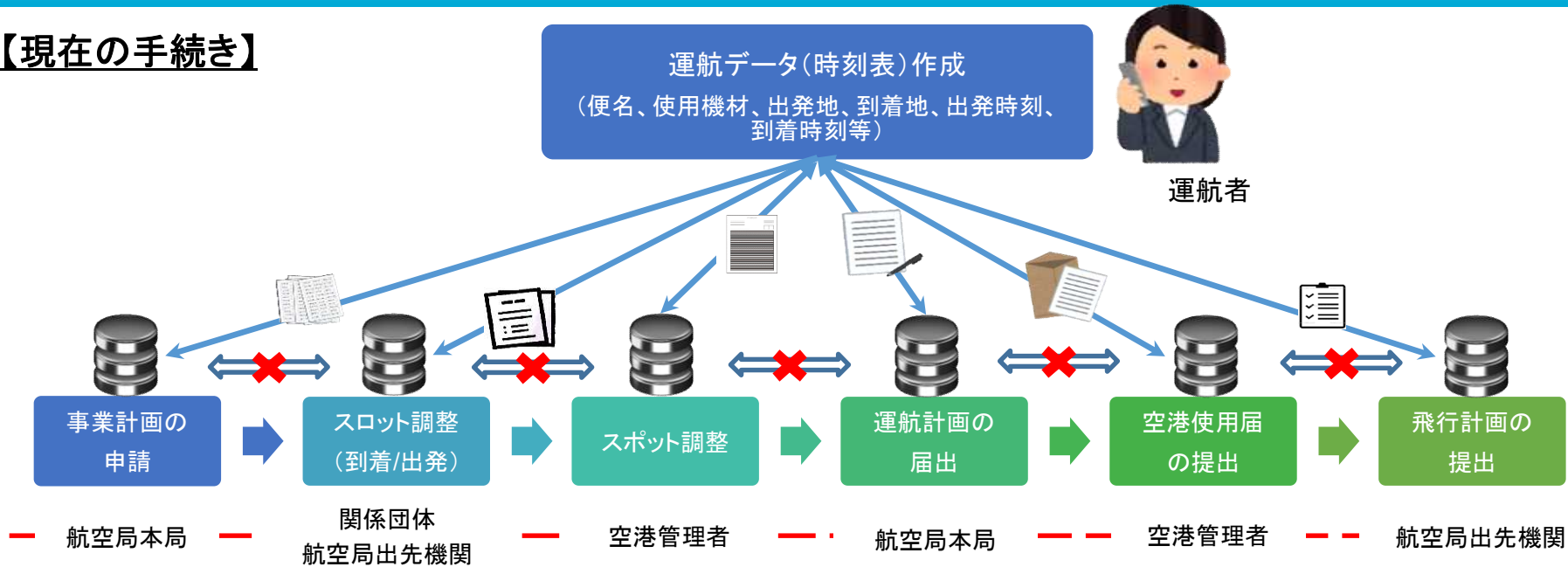


### DXによる期待される効果等

- ・WEBを介したオンライン試験、講習を実現。  
(任意の場所において、少人数規模の実施が可能)  
(移動に伴う時間、コストを軽減)  
(職員の作業負担減)

# ③ 運航手続

## 【現在の手続き】

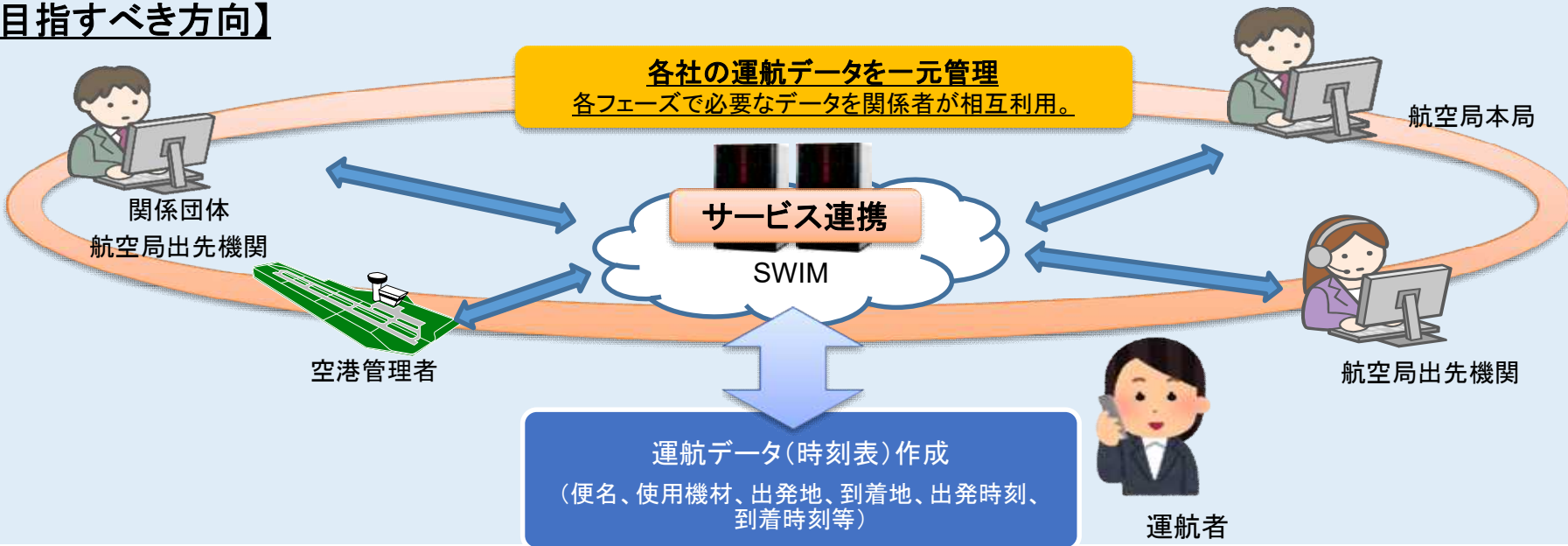


### 現状手続の課題等

- ・申請・届出等の関係機関が多い。
- ・申請様式がそれぞれ異なる。
- ・書面又はメールによる申請手続。  
(手続きが煩雑)
- ・調整完了後、次の手続へ  
(時間がかかる。)
- ・変更の都度、再度手続が必要。
- ・関係機関間が、個別に連携・共有。  
(信用性はそれぞれの機関が確認)



## 【目指すべき方向】



### DXによる期待される効果等

- ・関係機関間による容易なデータ共有
- ・様式不要  
(各機関が要件に基づきデータ抽出)  
(手続き簡素化)
- ・同時調整が可能  
(時間の大幅な短縮)
- ・変更等もいつでも容易かつ正確  
(データ信用性の向上)

